



宇和島城主。今治城主。近江国犬上郡藤堂(現、滋賀県犬上郡甲良町)出身。初め浅井長政に仕えるが織田信長に浅井家が滅ぼされ、仕官先を転々とした。後に羽柴(豊臣)秀吉の弟の秀長とその子・秀保に仕え、中国毛利攻めや賤ヶ岳の戦いで勇猛果敢に働き抜群の戦功をあげたが、秀保が若くして没し、その菩提を弔うため出家して高野山に入った。しかし、その才を惜しんだ秀吉に呼び戻され、宇和郡板島(現、宇和島市)7万石の大名となり、朝鮮出兵に参戦した。

秀吉の死後、高虎は、豊臣方の武将に先んじて家康の側に付き、関ヶ原の戦いで大きな戦功をあげて今治城主となり、大坂冬の陣、夏の陣でも徳川方として戦い、伊勢国(現、三重県東部)津32万石の大名に上りつめた。

また、板島丸串城(現、宇和島城)、大津城(現、大洲城)、今治城など多くの城の改修や築城に携わり、その巧みさと城の堅固さから、築城の名手として讃えられた。

略歴

| | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 弘治2(1556)年 | 近江国犬上郡藤堂に生まれる。 |
| 元亀元(1570)年 | 姉川の合戦に参戦 |
| 天正4(1576)年 | 羽柴秀長に仕える。 |
| 天正15(1587)年 | 紀伊国(現、和歌山県と三重県南部)粉河城主となり2万石の領地を受ける。 |
| 天正20・文禄元(1592)年 | 朝鮮出兵(文禄の役)に参陣 |
| 文禄4(1595)年4月 | 主君・秀保の死去により、高野山に入る。ほどなく山を出て、豊臣秀吉に仕える。 |
| 7月22日 | 宇和郡板島7万石の大名となる。 |
| | 大津城に入城。大規模な改修を行う。 |
| 慶長元(1596)年 | 丸串城の大改修に着手。慶長6(1601)年完成。宇和島城と命名 |
| 慶長2(1597)年 | 再度の朝鮮出兵(慶長の役)に参陣 |
| 慶長5(1600)年 | 関ヶ原の戦いに参陣の後、その功により、今治20万石の大名となる。 |
| 慶長7(1602)年 | 今治城築城に着手 |
| 慶長13(1608)年8月 | 養子・高吉を今治城代に残し、伊勢国津に領地替え |
| 寛永7(1630)年10月5日 | 江戸屋敷において75歳で永眠。墓所は東京都台東区上野公園の寒松院 |

(肖像画：四天王寺蔵)

〈関連図書〉

- ・須田武男『豊臣時代の伊豫領主の史料研究』愛媛県教育公務員弘済会 1975年
- ・桜井久次郎『伊予大洲論叢第11編 大洲藩新谷藩研究』大洲藩史料研究所 1977年
- ・横山高治『藤堂高虎』創元社 1987年
- ・徳永真一郎『藤堂高虎』PHP研究所 1990年
- ・『県民メモリアルホール人物探訪 第1集』愛媛県生涯学習センター 1997年
- ・藤田達生『江戸時代の設計者 異能の武将・藤堂高虎』講談社 2006年
- ・愛媛歴史文化博物館『戦国南予風雲録 乱世を語る南予の名品』愛媛歴史文化博物館 2007年

〈ゆかりのある場所〉…(P275, 46)

〈関連施設〉…今治城

〒794-0036 愛媛県今治市通町3-1-3 TEL: 0898-31-9233

大洲城

〒795-0012 愛媛県大洲市大洲903番地 TEL: 0893-24-1146

宇和島城

〒798-0060 愛媛県宇和島市丸之内1 TEL: 0895-22-2832